

別紙（浄水場ごとに記載）

実施年度	年度	浄水場等名称	
水道事業者等名称		当該施設からの 給水人口	

（ア）水道原水に係るクリプトスポリジウム等による汚染のおそれの判断（毎年度実施）

水源名 ※1				
水源種別 ※2				
おそれの判断 レベル（4・3・2・1）				

（水源域の排出源の有無）

排出源の有無 ※3	有・無	有・無	有・無	有・無
排出源の種類 ※4	1・2・3	1・2・3	1・2・3	1・2・3
	4・5・6	4・5・6	4・5・6	4・5・6
	7	7	7	7
	その他（ ）	その他（ ）	その他（ ）	その他（ ）

（原水の指標菌検査）

大腸菌 ※5	定性	実施頻度	年1回（ ） 3ヶ月に1回（ ） 1ヶ月に1回（ ） その他（ ）			
		検出状況 （当該年度）	/	/	/	/
		検出状況 （これまでの集計）	/	/	/	/
	定量	最高値（単位）				
		最低値（単位）				
		平均値（単位）				
嫌気性芽胞菌 ※5	定性	実施頻度	年1回（ ） 3ヶ月に1回（ ） 1ヶ月に1回（ ） その他（ ）			
		検出状況 （当該年度）	/	/	/	/
		検出状況 （これまでの集計）	/	/	/	/
	定量	最高値（単位）				
		最低値（単位）				
		平均値（単位）				

(深井戸水源の隔絶性の確認 → 汚染のおそれの判断でレベル1とした施設のみ回答)

被圧地下水以外の水の混入の有無の確認 ※6	原水の 水質検査	() 大腸菌は検出されていない	() 大腸菌は検出されていない	() 大腸菌は検出されていない	() 大腸菌は検出されていない
		() トリクロロエチレン等の汚染はない	() トリクロロエチレン等の汚染はない	() トリクロロエチレン等の汚染はない	() トリクロロエチレン等の汚染はない
		その他参考事項(具体的に記入)	その他参考事項(具体的に記入)	その他参考事項(具体的に記入)	その他参考事項(具体的に記入)
	井戸内部の 撮影等	年 月実施	年 月実施	年 月実施	年 月実施
		年 月実施予定	年 月実施予定	年 月実施予定	年 月実施予定
		() 実施しない	() 実施しない	() 実施しない	() 実施しない
		(その理由)	(その理由)	(その理由)	(その理由)
		() レベル2と同じ対応	() レベル2と同じ対応	() レベル2と同じ対応	() レベル2と同じ対応
		() 以下のとおり	() 以下のとおり	() 以下のとおり	() 以下のとおり

(原水のクリプトスポリジウム等検査)

クリプト スポリジウム 等の検査 ※5	検査の項目	クリプト スポリジウム		ジアルジア		クリプト スポリジウム		ジアルジア	
		実施頻度	年1回 ()	()	年1回 ()	()	年1回 ()	()	年1回 ()
		3ヶ月に1回 ()	()	3ヶ月に1回 ()	()	3ヶ月に1回 ()	()	3ヶ月に1回 ()	()
		その他 ()	()	その他 ()	()	その他 ()	()	その他 ()	()
定性	検出状況(当該年度)	/	/	/	/	/	/	/	/
	検出状況(これまでの集計)	/	/	/	/	/	/	/	/
定量	最高値(単位)								
	最低値(単位)								
	平均値(単位)								

- ※1 認可を受けている水源のほか、将来使用計画のある水源についても記入する。
- ※2 表流水(湧水含む)、伏流水、浅井戸、深井戸、浄水受水又はその他(具体的に記述)のいずれかを記入する。
- ※3 表流水、伏流水にあっては上流域に、浅井戸にあっては取水施設の周辺に人間あるいはほ乳動物の糞便を処理する施設等の有無について選択する。
- ※4 排出源の種類について、「下」公共・流域下水道施設(終末処理場放流口)、「雨」公共・流域下水道施設(合流式下水道の雨水吐き等)、「し」し尿処理施設、「合」合併浄化槽、「畜」家畜糞尿の貯留、処理施設、「集」集落排水処理施設、「牧」家畜の放牧場(地)、「他」上記以外の排出源(具体的に記述)から選択する。
- ※5 実施頻度については、該当するものを選択するか具体的に記述する。
定性的な方法で検査している場合は、検出状況を「陽性件数/検査件数」で表し、定量的な方法で検査している場合は、最大値、最小値及び平均値を単位を含めて記入する。
- ※6 おそれの判断でレベル1の施設のみ、被圧地下水以外の水の混入の有無について、その確認状況を記入する。
井戸内部の撮影等を実施しない(予定のない)場合、その理由を選択ないし記入する。

(イ) 対策－１ 【ろ過設備による対応】

(ア) でレベル４又は３に該当し、ろ過設備を整備している（整備を計画している）浄水場に限り記入

当該年度に実施した対策又は策定した計画

現 況	浄水処理 ※7	① 急速ろ過(凝集あり) () ② 急速ろ過(凝集なし) () ③ 緩速ろ過 () ④ 膜ろ過 () ⑤ 消毒のみ ()
	ろ過洗浄排水等濁質低減機能	① なし () ② あり () ③非該当 ()
	浄水場管理	① 24時間常駐 () ② 昼間常駐 () ③ 巡回 () ④ その他 ()
	濁度管理状況	0.1度以下の濁度監視 ① 常時 () ② 定期 () ③ 不定期 () ④ 監視なし ()
		濁度の連続記録 ① あり () ② なし ()
	凝集剤注入率設定	① 手動 () ② 原水濁度連動 ()
	卓上型濁度測定機器	① なし () ② 浄水場内 () ③ その他 ()
	クリプトスポリジウム等対策状況	① 対応未実施 () ② 平成8年10月以降に対策を実施 () ③ 平成8年10月以前に対策を実施 ()
	浄水場での対応未実施の場合の理由	
	連続濁度測定計器の整備	現 況
計 画		整備予定年度： 年度 設置台数： 台、ろ過池等の数：
暫定措置		① 卓上型測定機器による測定 () ② 登録検査機関への委託による測定 ()
対 策	前年度と比べて新たに実施された対策等があれば記入すること	
	水源対策を含む恒久対策と実施予定年度 ※8	

※7 凝集剤注入施設のない急速ろ過は、②(凝集なし)として整理する。該当するものを選択する。

※8 クリプトスポリジウム等を除去できる浄水処理が実施されており、かつ連続濁度測定計器により濁度管理ができていない場合は必ずしも記入を要しない。

(イ) 対策－2 【紫外線処理設備による対応】

(ア) でレベル4又は3に該当し、紫外線処理設備を整備している（整備を計画する）浄水場に限り記入

当該年度に実施した対策又は策定した計画

現	ろ過設備の有無 ※7	① 急速ろ過（凝集あり）（ ） ② 急速ろ過（凝集なし）（ ） ③ 緩速ろ過（ ） ④ 膜ろ過（ ） ⑤ 消毒のみ（ ）	
	ろ過洗浄排水等濁質低減機能	① なし（ ） ② あり（ ） ③非該当（ ）	
	鉄・マンガン処理の有無	① なし（ ） ② あり（ ）	
	浄水場管理	① 24時間常駐（ ） ② 昼間常駐（ ） ③ 巡回（ ） ④ その他（ ）	
	紫外線処理対象水の状況	当該年度の紫外線処理対象水の水質検査結果 ① 色度（最大： 最小： 平均： ） ② 濁度（最大： 最小： 平均： ） （過去の水質検査結果における最大値： ） ③ 紫外線（253.7nm付近）の透過率（ ） % ④ 鉄（最大： 最小： 平均： ） ⑤ 硬度（最大： 最小： 平均： ） ⑥ マンガン（最大： 最小： 平均： ）	
	紫外線処理対象水の常時測定可能な濁度計の設置	① なし（その理由： ） ② あり（ ）	
	クリプトスポリジウム等対策状況	① 対応未実施（ ） ② 平成8年10月以降に対策を実施（ ） ③ 平成8年10月以前に対策を実施（ ）	
	浄水場での対応未実施の場合の理由		
	紫外線処理設備	設置（予定）年月	年 月（設置済・予定） （変更認可年月： ）
		ランプ本体等の破損防止措置 ※9	① なし（ ） ② あり（具体的措置： ）
紫外線照射槽 ※9		設置基数： 基 （1基の場合、故障時の対応： ）	
非常用電源設備 ※9		① なし（ ）（停電時の対応： ） ② あり（ ）	
その他の安全対策 ※9		【具体的に記述】	
対策	前年度と比べて新たに実施された対策等があれば記入		

※7 凝集剤注入施設のない急速ろ過は、②（凝集なし）として整理する。該当するものを選択する。

※9 紫外線処理設備の安全対策状況について選択あるいは具体的に記述する。

(ウ) 浄水処理の状況 (ア) でレベル3及び4に該当する浄水場に限り記入)

【ろ過設備整備の機関】

① ろ過池出口の水の濁度把握状況

測定結果は、連続濁度測定計器による測定の場合は1ヶ月の平均値を、卓上型濁度測定機器による測定の場合は1ヶ月に1回以上の検査結果をそれぞれ記入すること。

測定場所		
測定結果	最大値	
	最小値	
	平均値	
測定回数及び検査機関 ※10		

② ①でろ過池出口の水の濁度が0.1度を超過した事例がある場合、その原因と措置を記入する。

測定年月日	測定結果	原因	措置

※10 卓上型濁度測定機器による測定の場合のみ記入すること

【紫外線処理設備整備の機関】

③ 紫外線照射槽内の紫外線強度把握状況

紫外線強度の確認方法		【具体的に記述】
測定結果	最大値	
	最小値	
	平均値	

④ ③で十分な紫外線強度が得られなかった場合、その原因と措置を記入する。

測定年月日	測定結果	原因	措置